

資料（調査票）

施設等における高齢者の尊厳を支えるケアの確立のための実態調査

回答は、別紙（回答用紙）に記入の上、別紙のみ提出してください。

あなたの現在の状況について

1 はじめに、あなたご自身のことについて、該当する番号を回答用紙に記入してください。

職場	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設（老人保健施設）		
	介護療養型医療施設（療養病床等）	認知症高齢者グループホーム		
	有料老人ホーム・ケアハウス	その他（ ）		
性別	男性	女性		
年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代
	50歳代	60歳以上		
主とする業務	介護職員	看護職員	理学療法士・作業療法士	介護支援専門員
	生活相談員・支援相談員	その他（ ）		
現在の職場での経験年数	1年未満	1年以上3年未満	3年以上	
夜間勤務	している	していない		
雇用形態	正規職員	パート・アルバイト職員（常勤）		
	パート・アルバイト職員（非常勤）	その他（ ）		

2 あなたの現在の仕事、健康、家庭等の関係について、該当する番号を回答用紙に記入してください。

仕事の満足度	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
健康状態	良好	概ね良好	普通	やや不良	不良
疲労状態	全く疲れていない	ほとんど疲れていない	普通	やや疲れている	疲れている
睡眠の充足度	充足している	ほぼ充足している	普通	やや不足している	不足している
仕事と自分の時間との両立	両立している	ほぼ両立している	普通	やや両立していない	両立していない
家庭で心配ごとがある	全くない	ほとんどない	少しある	ある	多くある
利用者との信頼関係	良好	概ね良好	普通	やや不良	不良

あなたの職場の環境について

現在の職場での状況を、記入してください。

1 あなたの職場では、特定のサービス担当者に負担がかからないよう、業務分担について配慮がされていますか。

十分配慮されている	ある程度配慮されている	あまり配慮されていない
配慮されていない		

2 あなたの職場には、あなたが仕事の上で何か困った時、相談にのったり適切なアドバイスをしてくれる人はいますか。

いる	いない
----	-----

3 あなたは、クライアントハラスメント（利用者からの性的嫌がらせ・暴力行為等）を受けたことがありますか。

ある	ない
----	----

4 あなたの職場では、担当職員と利用者との相性がよくない等確執が生じる危険性がある場合、適宜、担当を交代するなどのトラブル及び虐待防止策がとられていますか。

はい いいえ わからない

5 あなたの職場では、利用者の金銭を預かり管理する場合は、金銭管理費・日常生活費の規定を備え、利用者や家族へ定期的に報告するなど適切にされていますか。

はい いいえ わからない

6 あなたの職場では、コンプライアンス（法令遵守）の徹底について、職員への研修等の取り組みがなされていますか。

はい いいえ わからない

7 あなたの職場では、事故対応マニュアルを作成し、職員に周知されていますか。

はい いいえ わからない

8 あなたの職場では、事故防止のための職員間の話し合いや、研修を実施していますか。

はい いいえ わからない

苦情処理機関・第三者委員・情報開示について

1 あなたの職場では、サービス担当者によるサービスの提供状況について、定期的に利用者の意見や感想を聴き取る等、適切にサービスが提供されているか否かを確認していますか。

している していない わからない

2 あなたの職場では、意見箱や苦情相談窓口を設置し、相談方法や担当者を施設内に掲示したりパンフレットに記載して配布するなど、苦情相談方法について利用者や家族に説明していますか。

窓口等が設置され、利用者や家族に説明している
窓口等は設置されているが、利用者や家族に説明していない
窓口等の設置はされていない
わからない

3 あなたの職場には、第三者委員が設置されていますか。

設置されている 設置されていない わからない

4 あなたの職場では、利用者及び家族（身元引受人）からの求めに応じて援助に関する記録の開示が行われていますか。

開示している 開示していない わからない

5 あなたの職場では、苦情相談内容の掲示と改善内容・結果の公表をしていますか。

公表している 公表していない わからない

6 あなたの職場では、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の情報開示や説明をしていますか。

はい いいえ わからない

7 あなたの職場では、苦情の改善のための対処マニュアルを作成し、職員に周知されていますか。

はい いいえ わからない

8 あなたの職場では、苦情の改善のための職員間の話し合いや状況の再確認の場が設けられていますか。

はい いいえ わからない

9 あなたの職場では、介護相談員派遣事業の受入れをしていますか。

はい	いいえ	わからない
----	-----	-------

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」について

1 あなたは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」（以下、高齢者虐待防止法と略す）が、平成18年4月より施行されていることを知っていますか。

知っている	法律名は知っているが内容までは知らない	知らない
-------	---------------------	------

2 あなたは、高齢者虐待防止法の中で、養介護施設従事者等は虐待を発見した時、市町村に通報しなければならないことを知っていますか。

知っている	知らない
-------	------

3 あなたは、養介護施設従事者等による高齢者虐待の通報等を行った従事者等は、通報等をしたことを理由に解雇その他の不利益な取り扱いを受けないことが高齢者虐待防止法に規定されていることを知っていますか。

知っている	知らない
-------	------

4 あなたは、上記のほかに平成18年4月1日から施行された「公益通報者保護法」によっても、一定の事実の公益通報に関し、解雇その他の不利益な取り扱いを受けないことが規定されていることを知っていますか。

知っている	知らない
-------	------

5 あなたは、あなたの市町村の高齢者虐待の通報窓口がどこかを知っていますか。

知っている	知らない
-------	------

6 あなたの職場で、高齢者虐待防止法についての説明・研修等がありましたか。

あった	ない
-----	----

高齢者虐待について

*高齢者虐待とは、次のような行為のことを言います。

虐待の種類	虐待の具体例
1 身体的虐待	殴る、蹴る、無理やり食事を口の中に入れる、火傷させる、不適當な薬の使用/等
2 介護・世話の放棄・放任	入浴しておらず異臭がする、水分や食事が十分でなく空腹状態である、コールを手の届かないところに置く /等
3 心理的虐待	排泄の失敗をどなる、人前で恥をかかせる、子どものような扱いをする、無視/等
4 性的虐待	排泄の失敗で下半身を裸にして放置する、性器への接触 /等
5 経済的虐待	年金や預貯金を本人の意思に反して使用する /等

1 あなたは、同僚が利用者に対して上記の虐待と思われる行為をしているところを見たことがありますか。

ある	ない
----	----

2 あなたは、もし同僚による虐待を見た場合、どうしますか。

気付かないふりをする	同僚に注意する	他の同僚に相談する
利用者の家族に報告する	上司に報告する	市町村へ相談する
県へ相談する	その他（	）

3 あなたは、利用者同士による虐待を、見たり気付いたことはありますか。

ある	ない
----	----

4 あなたは、利用者同士による虐待を見た場合、どうしますか。

気付かないふりをする	間に入って事情を聞く	同僚に相談する
利用者の家族に報告する	上司に報告する	市町村へ相談する
県へ相談する	その他()	

5 あなたは、現在の職場で高齢者虐待と思われる行為や不適切な対応をしたことがありますか。

ある	ない
↓	
上記で、 と答えた方にみ、お答えください。	
ア どのような行為を行いましたか。(該当するもの全て)	
叩く、つねる、枕を顔に押し付ける等した	利用者に嫌味を言った
利用者を罵るなど暴言を吐いた	利用者のコールを無視した
嫌いな利用者の順番を後回しにした	トイレや食堂、屋外等に長時間放置した
食事を無理矢理押し込んだり無理にせかしたりした	
利用者から預かった金銭を使った	向精神薬を服用させ静かにさせた
乱暴な介護をした	人目に触れるところで排泄介助や着替えをさせた
性的目的をもって身体をさわった	部屋に閉じ込めた
その他()	
イ その理由は何ですか。(該当するもの全て)	
ついやってしまった	ストレスがたまっていたから
相手が言うことを聞かなかったから	職場の雰囲気のみんなしていることだから
利用者の家族が気にいらないから	セクハラ被害を受けたから
その他()	

6 職場での高齢者虐待防止を推進するために必要だと思うことは何ですか。(優先順位上位から順番に3つ選択)

上司からのスーパービジョン(示唆・助言)、管理者による教育的指導、研修体制の確立等施設内のガバナンス(統治機能)の確立
職員個人あるいは職員間にストレスをためない工夫
職員の休憩場所の確保
変則2交代制を3交代制にする等、夜勤体制の見直し
早朝等仕事がたまりやすい時間の業務分散や人員配置の工夫
利用者間に上下関係をつくらない
利用者が一人になれる時間や場所をつくる等プライバシーの確保
小規模生活単位型の実施
第三者評価事業や介護相談員派遣事業等の実施
利用者やその家族に対し、行政の担当課、国保連の苦情解決担当、県社協の運営適正化委員会等他の苦情解決担当窓口の紹介
認知症高齢者のケア方法の確立
高齢者の加齢に伴う様々な変化の理解
高齢者及び職員の人権についての啓発・理解
質の向上のための継続的な研修の受講や、働きながらの学習の確保
行政による指導、監督権限の適切な行使
その他()

身体拘束について

*身体拘束とは、次のような行為のことを言います。

徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る
転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る
自分で降りられないように、ベッドを柵(サイドレール)で囲む
点滴、経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る
点滴、経管栄養等のチューブを抜かないように、又は皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける
車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったりにしないように、Y字型抑制帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける
立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようないすを使用する
脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣(つなぎ服)を着せる
他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る
行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる
自分の意思で開けることができない居室等に隔離する

1 あなたは、身体拘束(上記の行為)を現在の職場で見たり、行ったりしたことがありますか。ただし、緊急やむを得ない場合の実施は除きます。(該当するもの全て)

2 身体拘束は、本人または他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、原則として禁止されていることを知っていますか。

知っていた なんとなく知っていた 知らなかった

3 あなたの職場では、身体拘束廃止に向けて、どのような取り組みをしていますか。(該当するもの全て)

身体拘束の廃止、適正化等のための検討組織がある
職員の意識改革のため、研修会を開催している
身体拘束を行った事例について、ケース検討会議等を開催し記録に残している
特になにもしていない
わからない その他()

4 あなたの職場では、利用者の家族から拘束の依頼があった場合に、どのような対応をすることになっていますか。

家族から依頼があった場合は、拘束するようにしている
家族に、身体拘束は緊急やむを得ない3つの要件(切迫性・非代替性・一時性)以外にはできないことを説明し、理解が得られない場合は拘束をする
家族に、身体拘束は緊急やむを得ない3つの要件(切迫性・非代替性・一時性)以外にはできないことを説明し、理解を求め拘束はしない
わからない
その他()

5 身体拘束廃止を阻害する要因は、何だと思えますか。(該当するもの全て)

事故防止の点で不安がある 他に有効な手段・方法がない
利用者や家族からの拘束の要望がある 現状の人員では対応できない
現状の設備では対応できない 医師の指示がある
万一事故があった場合の損害賠償が大変である 上司の指示でさからえない
職員の意識の中に、身体拘束をしているほうが手間がかからず、利用者によっては身体拘束の必要があるという意識が強い
身体拘束をしない介護方法を職員間で十分に検討する余裕がない
その他()

6 身体拘束廃止を、施設全体で取り組むためには、どのようなことが必要だと思いますか。(優先順位上位から順番に3つ選択)

施設長のリーダーシップ 職員の身体拘束の弊害の理解や、身体拘束をしない介護技術の修得 事例検討会の実施 認知症高齢者のケア方法の確立 介護技術の修得のための研修や施設間の情報交換 十分な職員数の確保 身体拘束廃止の取り組みについての家族の理解 施設内の設備の見直し 施設の情報公開を進める その他 ()

その他

1 高齢者に対し、適切なケアができ、職員も業務にやりがいや充実感を味わえる職場にするためには、どのようなことが達成されるといいと思いますか。(優先順位上位から順番に3つ選択)

施設経営者の理解 雇用の安定 身近な相談者の確保	仕事量に見合った職員数の配置 良好な職場の人間関係 利用者家族との連携が取りやすい体制	賃金の改善 研修の機会の確保 その他 ()
--------------------------------	---	------------------------------

2 あなたの職場で、高齢者虐待防止及び身体拘束廃止に関する取り組みについて、御紹介いただけることがありましたら、自由に記載してください。

3 あなたが、高齢者の尊厳を支えるケアを行うために日頃感じていることがあれば、自由に記載してください。

御協力ありがとうございました。

- *この調査は、お答えいただく方の個人名や該当施設名・所在地はご記入いたしませんので、個人や施設が特定されることはありません。
- *ご記入いただいた内容は、全て記号化して統計処理を行いますので、事例の特定はいたしません。
- *個々の調査内容については、本調査目的以外には使用いたしません。
- *本調査目的にそぐわない、施設名、個人名を特定した誹謗・中傷等の記入はご遠慮下さい。
- *この調査は事例の通報を受け付けるものではありませんので、事例の記入はご遠慮ください。

返信用封筒またはFAXでの回答でもかまいませんので、返信をよろしくお願ひします。FAX先
施設等における高齢者の尊厳を支えるケアの確立のための実態調査(回答用紙)

あなたの現在の状況について

1 職場 その他の場合() 性別
 年齢 主な業務 その他の場合()
 経験年数 夜間勤務 雇用形態 その他の場合()
 2 仕事の満足 健康状態 疲労状態
 睡眠の充足 時間の両立 心配ごと
 信頼関係

あなたの職場の環境について

1 2 3 4
 5 6 7 8

苦情処理機関について

1 2 3 4
 5 6 7 8 9

高齢者虐待防止法について

1 2 3
 4 5 6

高齢者虐待について

1 2 その他の場合() 3
 4 その他の場合()
 5 → ア その他の場合()
 イ その他の場合()
 6 優先順位の上位のものから3つ選択
 その他の場合()

身体拘束について

1
 2 3 その他の場合()
 4 その他の場合()
 5 その他の場合()
 6 優先順位の上位のものから3つ選択
 その他の場合()

その他

1 優先順位の上位のものから3つ選択
 その他の場合()
 2
 3

ありがとうございました。